

◆◆特集◆◆

★「災害対策基本法の一部を改正する法律」の概要について★
(国土交通省 道路局 路政課)

「災害対策基本法の一部を改正する法律」が衆参両議院における審議・全会一致による可決を経て、本年11月21日に公布・施行されました(平成26年法律第114号)。本法改正は、主として災害時の道路管理者の権限について新たに定めたものであり、道路行政に関係の深い法改正であるため、ここで同法の内容について紹介します。

◆◆道路占用Q&A◆◆

★中心市街地の活性化に関する法律の改正に伴う
特例道路占用制度等について★
(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

中心市街地の活性化に関する法律の施行に伴う道路法の特例について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★進化する「道の駅」の機能強化を図る国の取組★
～先駆的なモデル箇所選定と関係機関による総合的な支援～
(国土交通省 道路局 企画課/国道・防災課)

本格的な人口減少・高齢化社会を迎え、地方の活力維持が大きな課題となる中、国土交通省では、生活サービスを集約提供する「小さな拠点」づくりなど、コンパクト+ネットワークの考え方にに基づき地域を支える取り組みを進めている。

元々、道路利用者のためのトイレ・休憩施設として生まれた「道の駅」は、その数1,000を超える中、地域の課題解決の場として独自の進化を遂げ、来訪者を呼び込み、地域の賑わいの拠点となり始めている。本稿では、進化する「道の駅」の機能強化を図り、地方創生の拠点とする先駆的な取り組みをモデル箇所として選定した上、関係機関が連携して総合的に支援する取り組み、また併せて基礎機能向上を実施する取り組みについて概説する。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★平成 26 年度台風 12 号、11 号による被災と
四国地方整備局の対応について★

(四国地方整備局 道路部)

平成 26 年度台風 12 号、11 号で、四国内で多くの避難勧告・避難指示が発令され、最大となった 8 月 10 日午前 9 時では、避難指示が 6,750 世帯、避難勧告が 221,667 世帯に発令された。本稿では、平成 26 年度台風 12 号、11 号による被災とその対応について寄稿する。

.....

★佐賀県における道路維持管理に係る業務改善の取組みについて★
～各種維持管理システムの開発～

(佐賀県 交通政策部 道路課)

道路は、県民の安全で安心な日常生活や地域の産業・経済を支える最も重要な社会資本の 1 つであり、限られた予算の中で道路整備と維持管理に取り組む必要があります。そこで、本県では道路施設の効果的な維持管理を目的として、各種維持管理システムを導入していることから、本稿でその概要等についてご紹介します。

.....

★鳥栖市の道路管理 ～鳥栖市道路里親制度～★

(鳥栖市 建設部 建設課)

鳥栖市では、草刈りや清掃などの自発的なボランティアによる道路の美化活動、道路の管理に必要な情報の提供（道路の陥没など）を市民の皆さんにお願いする「道路里親制度」を導入しています。本稿では、活動概要及び今後の課題についてご紹介します。

◆◆編集後記◆◆

ドアノブに触れてパチッ！着替えようとしてパチパチッ！

冬になると、あちこちで静電気に悩まされます。静電気は、モノとモノがこすりあう摩擦によって発生し、身体にとどまる性質があります。この性質を利用し、子供の頃に、下敷きで髪の毛を逆立てて遊んだ記憶を持つ方も多いことでしょう。

静電気は、摩擦によって発生するため、1年を通して身近なものですが、特に冬に存在感を増すのには理由がありました。静電気は、水分に引き寄せられる性質を持っていることから、湿度が高い夏は、空気中の水分や、身体から出る汗を通して自然に逃げていきます。反対に、湿度が低い冬は、空気が乾燥しているため、水分に引き寄せられることなく身体にたまってしまい、金属などの電気を通しやすいものに触れた瞬間、急激に放電されて、パチッ！となります。また、冬は寒さを防ぐために、衣服を重ね着することが摩擦を増やすとともに、暖かいセーター（アクリル）やフリース（ポリエステル）は、電気を通してにくい素材であることが、冬に静電気の存在を強く感じる要因とされています。

静電気は、やっかいな存在でもありますが、その性質を活かして、身近なものに利用されています。下敷きに髪の毛が吸い付いたように、静電気には吸着力があります。この吸着力を利用しているのが、食材などを保存するときに使うラップです。箱の中からラップを引き出す際に静電気が発生することで、ぴったりとお皿にくっつきます。また、掃除に便利なハタキも、静電気の吸着力によって、ゴミやホコリをからめとります。毛先は合成繊維で作られていることが多く、よく振ってから使うと、静電気の発生が増えてゴミやホコリがたくさんとれます。ハタキについた汚れは、静電気の水分に引き寄せられる性質によって、水洗いで綺麗に落ちるため、何度も利用することができて経済的でもあります。

湿度が20%以下の環境になると、静電気は発生しやすくなると言われ、適度な湿度を保つことが、静電気の軽減につながります。また、衣服についても、吸湿性が高く電気を通しやすい、綿や麻などの衣服を着ると、身体にとどまらず、自然に静電気が逃げていきます。さらに、一度、手のひらでコンクリートの壁や木製のドアなどに触れ、放電させてから、ドアノブに触れるようにすると、パチッ！となることなく、不快な思いをせずに済むようです。これらの工夫を取り入れながら、冬の静電気と上手に付き合っていきたいと思います。(K)